

八事山文庫

特集

- 盂蘭盆会
.....4・5ページ
- 夏休みはお寺へ行こう
.....7ページ
- 献灯のご案内
.....10ページ

御堂に集う花まつり

釈迦世尊にあま茶のゆあみを捧ぐ



旧暦4月8日にあたる5月25日(月)、本堂にて旧花まつりが厳修されました。当日は好天にも恵まれ、仏教開祖である釈迦の生誕日を祝おうと本堂いっしょに参拝者が訪れました。

杜のコラム

梅の実には神様がいてといわれる。梅干しの堅い種子を割ると出てくる核を「仁」と呼ぶ。梅を愛した字間の神様、菅原道真にちなみ天神様とも称される。

熟していない梅には、青酸中毒を起こす物質があるという。種子が十分育たないうちは鳥などに食べられないようにする。酸味の主成分のクエン酸は

「生の青梅を食べるな」「天神様がいてから種を食べてはいけない」との戒めがあるからだ。

梅は春の季節だが、梅干しや梅の実の夏の季節。初夏、塩漬けた梅を、夏の盛りを迎えるころには土用干しにする。手間暇かけてこそ、効能たつ梅干しができる。盛夏となれば、体調の管理がより大事な時期となる。梅干しは我々の健康を守る食卓の神様。御利益にあやかりたい。

疲労回復に役立つ。食欲増進にもなる。おむすびに入れば抗菌作用で食中毒の予防も期待できる。

7/13(月)~15(水) 七月盆 葵燈籠会のご案内

お盆はご先祖さまや、亡くなった近親者の霊を生前通じた家にお迎えする大切な行事です。新暦の七月盆にあわせ、興正寺ではご供養のための諸法会が行われます。



13日16時 迎え法会
15日18~20時 送り法会(精霊流し)

我が家へと帰ってくるご先祖さまをお迎えし、そして送りする大切なおつとめです。ぜひご家族そろってご参加ください。盆飾りのご供養は送り法会にて承ります。(供養料1,000円)

七月盆合同供養会 本堂にて

	13日	14日	15日
8:00		○	○
11:00		○	○
16:00	○	○	○

供養料：一霊5,000円

※ご予約承ります。受付、もしくはお電話にてお申し込みください。
ご供養される方の「戒名(俗名でも可)」「命日」、
施主さまの「氏名」「住所」をお伺いします。

三燈一会 ~ 献灯のお願い ~

期間中は竹燈籠が並び、やさしく境内を照らします。蠟燭の灯は、亡き方の足元を照らします。また同時にその小さな炎は、自らの内をも照らし、仏さまのところに触れる道しるべとなるのです。そのやわらかな光を楽しむとともに、どうぞご自身の手で、蠟燭に灯を点してください。

(竹燈籠点灯時間18:30~21:00/雨天時中止)



7/30(木) 旧青葉まつり

14時より本堂にて
旧暦六月十五日は弘法大師のお誕生日。緑のあざやかな季節のため「青葉まつり」とよばれます。私たちをいつも見守ってくたさっているお大師さまのご生誕をお祝いし、そのご功績を讃える法会です。ぜひご参拝ください。



特別朱印
参拝者次第授与

7/24(金) 8/24(月) 地藏菩薩大祭縁日

13時より
本堂前付近にて
毎月二十四日はお地蔵さまの「縁日」。夏休みの七月・八月は「お寺でお泊り会」の子どもたちと一緒におつとめをします。おつとめのあとは大鼓珠回しや菓子まき、お坊さんの紙芝居も。



7/9(木)・21(火) 8/2(日)・26(水)

戌の日 安産合同祈禱会(要予約)

14時より本堂にて
古来より興正寺は安産の名刹として信仰されております。子宝・安産法薬として「大随求陀羅尼」の御守をお持ちいただき、安産祈願を助けております。
祈禱料お千円・二万円 安産木札授与



8/10(日) 観音堂 九万九千日

9時より
西山観音堂にて
この日にお参りをすれば、九万九千日分の功德がいただける「九万九千日法会」が、興正寺西山観音堂で厳修されます。観世音菩薩との縁縁をぜひ、お結びください。





たかのしょうせい
高野 正清

夏になりますと色々な行事・イベントがありますね。夏祭り、花火大会、キャンプ、海水浴、おじいちゃんおばあちゃんの家遊びに行くなどなど。夏休みに入りお母さんはいつもとより大変です。子どもたちも夏休みの宿題や課題で大変ですが、授業がないので時間がたくさんあります。学校では勉強できない経験を夏休みの間に体験していくわけですね。
今月の寺通はお盆が近づくとよく聞く「施餓鬼」についてご紹介します！読めば夏休みの自由研究もバッチリ？かもしれません。

◆◆◆ 飢えと渴きの餓鬼たち ◆◆◆

人が亡くなると生前の行いに「六道」といい、私たちはこの世よって六つの世界に生まれ変わる界をぐるぐると廻っていると言われているとあります。閻魔大王のところにやって裁判を受け、自身が生まれ変わる世界が決めるのです。苦しみの多い順に地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天、この六つの世界

六道の一つが「餓鬼」の世界です。餓鬼というのは大きさが三センチくらいで、お腹がパンパンにふくれあがった鬼のこと。餓鬼が食べ物や飲み物を手にするとすべて炎に変わってしまい常に飢えと渴きに苦しんでいます。ならばと持たずに食べてみても、喉が針のように細いため喉を通っていかないので、食べたとしても食べられず、飲みたくても飲めない、これが餓鬼の世界です。



◆◆◆ どうして落ちる 餓鬼の世界 ◆◆◆

それでは、どんな人が餓鬼の世界に落ちるのか。

それは欲しくて欲しくてしょうがない、という心から離れられない人です。欲しい、欲しいけれども手に入らなくて人を羨む、あるいは手に入っても満足しない、手に入ったけれどもすぐに飽きて、また次のものが欲しくなる。このような心を持つ人は必ず餓鬼の世界に落ちます。知っているのに教えない、余っているのに人にあげない、優しくできるのに優しくしない、こんな心です。皆さん、思い当たることはございませんか？ 恥ずかしいことですが私もこんな心をもっていました。またすることがあるように思います。

餓鬼の世界に行かないためには「足るを知る」という心を持つこと。そしてもう一つは人に分け与える「施しの心」だと思います。

◆◆◆ 施餓鬼法会 ◆◆◆

餓鬼に施しをすることでその苦しみから救い、その功德をご先祖様へと届ける。それが「施餓鬼法会」です。「施しの

心」は餓えて苦しみ、手に入らないものを求め続ける餓鬼を救う唯一の方法です。何かをいただくよりも、与える方が心は豊かになります。足るを知り、施す心を育む。これはご先祖さまをはじめとした先人からの大切な教え。こんな豊かな心を積んでいただければ、より豊かな道を歩めることと思います。

興正寺の「施餓鬼法会」は八月二日・十六日に厳修されますので是非ともご参加ください。

合掌

ツウの細道

法会や回忌などお経が勤められるときはお供え物をするとあります。供物や仏花はもちろんのこと、線香や線香もお供え物です。そういった中で一番のお供え物は塔婆といわれています。ご供養の時にはこの無量の功德を持つ塔婆を建立し、その功德を故人にお供えください。



僧侶の一大修業期間

夏安居



六月二日より夏安居のおつとめが始まりました。興正寺では毎朝、僧侶が釈迦如来の御軸の前で戒律について説かれた「梵網經」をお唱えしながら、仏教徒として守るべき行いをしていくかを自らに問い、懺悔します。このおつとめは夏の間、八月十五日まで続きます。

夏安居とは...

夏安居の起源は約二千五百年前。お釈迦さまが在世当時のインドにまでさかのぼります。インドでは雨期となる六月九日頃(旧暦四月十六日〜七月十五日)、草木が生え繁り、昆虫、蛇など数多くの生き物が活動します。修行僧たちはこの約百日間、生き物への無用な殺生を防ぐため布施や托鉢をせず、箇所集まり各々の修行についての研鑽を深めたのです。戒律を重んじるお寺として、興正寺においてもこの修行をつとめています。

八事山歳時記

不動護摩堂大祭

特別護摩祈禱会



ふどうごまどうたいさい
とくべつごまきどうえ
不動明王を
お祀りする不
動護摩堂大祭
が六月五日と十
三日に勤修され
ました。特別護
摩祈禱会では、
参拝者が願ひ事
を記した護摩
木を自ら炎の中
にくべ、諸願の
成就を祈りまし
た。また、東山
本堂においては
東海三十六不
動尊霊場お砂踏
みが開壇されま
した。

興正寺中門前
にて、法人車両祈
禱が厳修されま
した。参拝された
方々は会社の繁
栄や安全を祈願
し、社業に対する
決意を新たにさ
れました。

興正寺 車両祈禱



6月17日(木) つばめタクシーグループ 都タクシー株式会社



お釈迦さまの
誕生日を祝う
旧花まつり
旧暦四月八日にあたる五月二十五日、旧花まつ
りが行われました。当日は朝から釈迦誕生時に甘
露の雨を降らせたといい二龍を模した花御堂が
本堂前に設置され、参拝者は釈迦の誕生を祝い
柄杓で誕生佛に甘茶をそそぎました。午後の法
会には多くの参拝者が参加し、僧侶と共に経を
唱え誕生を祝いました。法会後には甘茶・甘茶ゼ
リーのおふるまいが行われました。

出張法話

はつらつクラブ松栄コミュニティセンター(五月二十六日)、近隣福祉
施設(六月十二日)にて出張法話が行われました。興正寺ではご依
頼のあった先へ僧侶が訪問し、法話や写経などを行っています。



はつらつクラブ松栄コミュニティセンター
(渡邊正大)



近隣福祉施設
(三井正優)

子ども寺子屋くらぶ ★梅雨のたのしみ★



六月の子ども寺子屋くら
ぶは、「梅雨のたのしみ」と題
して季節の花「あじさい」のお
やつマツトを作りました。花び
らはスタンプで「つずつ押し」、
葉っぱは山の幸染めをして、
それぞれの想いのこもったき
れいなあじさいが布の上に咲
きました。

障子を外して障戸にした
耕雲亭に子供たちの笑顔と
初夏の風が吹き抜けました。

特集／盂蘭盆会

8月															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
											8/10~15 盆合同供養会				
											8/10~16 盆合同供養会(圓照堂)				
												8/13 14:30 盂蘭盆慰霊法会 (圓照堂)		8/15 14:30 盂蘭盆 慰霊法会	
										8/12 14:00,15:30,17:00 初盆合同供養会					
														8/15 17:00~20:00 精霊流し	
													8/14,15 17:00~20:00 盆踊り		
8/2 15:00 施餓鬼法会															8/16 11:00,13:00,15:00 施餓鬼大法会



餓鬼(生前の悪行
によって餓鬼道に
落ち、常に飢えと乾
きに苦しんでいる
魂へ水や食べ物のお
供え(施し)をして
その苦しみを和
らげ供養をするの
がお施餓鬼です。そ
の功德はご先祖さ
まへも及び、そのま
まご供養へと繋が
ります。



興正寺の卒塔婆は、一本一本手書きです。

- ❖ 受付／普照殿
- ❖ 塔婆料／
- ・六尺塔婆 一霊 三〇、〇〇〇円
先祖代々 五〇、〇〇〇円
 - ・五尺塔婆 一霊 一〇、〇〇〇円
先祖代々 二〇、〇〇〇円
 - ・四尺塔婆 一霊 五、〇〇〇円
先祖代々 一〇、〇〇〇円
- ❖ 予約／必要 来寺、電話、振込にて

施餓鬼法会・大法会

❖ 日時／八月二日(日)〔法会〕

十五時

八月十六日(日)〔大法会〕

十二時・十三時・十五時

初盆合同供養会

❖ 日時／八月十二日(水)

十四時・十五時三十分・十七時

❖ 供養料／一霊五、〇〇〇円

(「盆供養之證牒」授与)

人が亡くなってから初めて迎えるお盆のことを「初盆」と言います。故人が仏さまとなって初めて里帰りいたします。より丁寧にご供養しましょう。

盆踊り

❖ 日時／八月十四日(金)・十五日(土)

十七・二十時

❖ 会場／五重塔前やぐら

盆踊りは元々仏教行事。平安時代に始められた念仏踊りが盆の行事と結びつき、死者を供養するための行事として定着したとされています。

精霊流し

❖ 日時／八月十五日(土)

十七・二十時

❖ 受付／西山本堂前テント

❖ 供養料／一、〇〇〇円(蓮ろうそく付)

蓮ろうそくのみ授与もいたします。

盆飾り・お供えをご供養したのち、送り火として蓮ろうそくに明かりを灯し、浄土に帰られるご先祖さまや亡き方の御霊をお見送りいたします。



特集／盂蘭盆会

		7月																														
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31												
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金												
盆合同供養会	7/13~15 8:00,11:00,16:00 七月盆合同供養会 ※13日は16時のみ																															
盆合同供養会(圓照堂)																																
盂蘭盆慰霊法会 ※興正寺が施主となります																																
盂蘭盆慰霊法会(圓照堂) ※興正寺が施主となります																																
初盆合同供養会																																
精霊流し	7/13 16:00 迎え法会				7/15 18:00~20:00 送り法会(精霊流し)																											
盆踊り																																
施餓鬼法会・大法会																																

興正寺での納骨の有無に関わらず
どなたでもご参加いただけます。



興正寺での納骨の有無に関わらず
どなたでもご参加いただけます。

興正寺の
盆供養

【受付・西山本堂】墓地・霊龜堂・法羅陀浄苑・永代納骨 ※お盆の自無にかかわらずどなたでもご参加いただけます

日 時間	10日(月)	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)
8:00	○	○	○	○	○	○
11:00	○	○	○	△	○	○
13:00	○	○	○	△	○	○
16:00	○	○	○	○	○	○
19:00	○	○	○	○	○	△

◎盂蘭盆慰霊法会 8月15日(土) 14:30 西山本堂にて

【受付・圓照堂】圓照堂 ※お盆期間中はお遺骨・お位牌はお出しできません。

日 時間	10日(月)	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)	16日(日)
8:00	○	○	○	○	○	○	○
10:00	○	○	○	○	○	○	△
11:00	○	○	○	○	○	○	△
14:00	○	○	○	○	○	○	△
15:00	○	○	○	○	○	○	△
16:00	○	○	○	○	○	○	○

◎盂蘭盆慰霊法会 8月13日(木) 14:30 西山本堂にて

△は混雑が予想されます △はお受けできません

◎法羅陀浄苑 地蔵盆 8月24日(月) 16:00 法羅陀浄苑にて

盆合同供養会

ご先祖さまからいただいた命に感謝し、亡き人のご供養をいたします。
家族みんなで集まって、ご先祖さまに元気な姿を見せてあげましょう。

八月十日(月)～十六日(日) (予約優先)

※期間中、個別の供養はお受けできません。指定時間での合同供養となります。
※公共交通機関をご利用ください。特に十三日は緑日のため混雑が予想されます。
※供養料／一霊五、〇〇〇円(「盆供養之證牒」授与) ※予約／来寺、電話、振込にて
通称供養(ようはいくよう) 施主さま不参加でのご供養も承ります

地域版

人と街とお寺をつなぐ場所
八事山文庫

文月

旧暦七月
のこと七夕にちなんだ「文月」
稲穂ふくらむ「稲月」

小暑

七月七日
一十二日頃

梅雨が明け、蝉が鳴きはじめる。暑さが本格的になってくる頃。暑中見舞いを出す時期でもある。

大暑

七月二十三日
八月七日頃

一年でもっとも暑さが厳しく感じられる頃。各地で夏の風物詩である花火大会や祭りが催される。

ひと

ゆったりゆったり 薫りと空間を楽しむ

茶房 伽藍 稲垣秋彦さん



△焙煎は県内に3台、名古屋に1台しかない英国製焙煎機「ロスティアーノ」で少しずつ熱風焙煎する。



いながきあきひろ
●稲垣秋彦さん

茶房 焙煎珈琲豆家 伽藍オーナー。有機栽培・スペシャルティ珈琲の他、県内産の「あいちの紅茶」も取り扱う。手作りの白玉を使ったあんみつもオススメの一品。

大きな杉板一枚のカウ 実は譲る人を探して選別は手作業で。愛知がうれしくて励みになりンター、高い天井と梁、ると言われた。その時は 県産の紅茶は、茶園まで古材を使ったゆとりあ そうなのか、と思う程度 足を運び、特徴と淹れる店内、一歩足を踏み入 だつたが、伽藍が気になっ 方を教えてもらった。ると、木がふわりと薫てその後も時々コーヒー コーヒーや紅茶の話になるようだ。壁面には有田を飲み通った。どうやると、声も自然と弾む。焼をはじめ、銘の入ったらまだ決まっていけないよ まだまだ勉強中だから、カップセットがずらりと うだ。「緑だと思った」と言いながらも顔はとて並ぶ。オーダーしたコー お店を譲り受け、稲 も楽しげだ。



△広々とした店内。時間もゆったりと過ぎていく。

茶房 焙煎珈琲豆家 伽藍

052-831-0881

名古屋市昭和区上山町4丁目7番地 南山ビル1-D

営業時間 11:00~18:00 定休月曜日

親子で読みたい

ことのほ あそび

「身口意」。

身体・言葉・心、この三つを同時に高めていくことが大切だというお大師さまの教えの一つです。

このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉の葉たちを毎月ご紹介していきます。

海は昼眠る、夜も眠る、

いこいこ、いびきをかいて眠る。

昔、昔、おお昔

海がはじめて、口開けて、

笑ったときに、太陽は、

目をまわして驚いた。

小川未明「海と太陽」



海と太陽。どちらも、偉大なる自然そのものであり、象徴ですね。そのコミュニケーションは太らかにしてほからか。笑う海、驚く太陽、海水浴に遊びに行ったときにふと思いついてしまふような詩です。作者の小川未明は「日本のアンデルセン」「日本児童文学の父」と呼ばれる児童文学作家。



ヒマラヤ桜サクランボ

昨日 今日 あした…

八事のお山の
さすがに「梅雨」で
すね。やけに暑い日
が続いた6月半ば、
興正寺境内の梅の
木が一斉に実をつけ
ました。エスカレー
ター南側の梅の木
や、能満堂北側の庭
のしだれ梅も実りま
した。うれしいうれ
しう。また以前この
文庫に載せていた
「七年目のヒマラヤ
と小島のごちそう
しみにしていただき



螢燈池のアジサイ

(井上)

夏休みは お寺へ行こう!

毎月21日 7月の
興正寺マルシェ

遊翠の心
「きもの装い」
無料体験教室
大書院
●十時～十四時各回三十分程度
マルシェだけの特別企画!洋服の上
から帯結びをしてみよう。

マルシェへの出店は
サロン・ド・マルシェHP
http://www.marche-nagoya.com/
よりお問い合わせください

●夏休みラジオ体操

7月18日(土)～24日(金)朝6時30分
夏休みの朝は、興正寺のラジオ体操から!
体操の後にはお坊さんのお話、
境内の掃除もあります(希望者のみ)

●7月&8月24日は お地藏さんのご縁日!

夏休みのお地藏さんご縁日はお楽しみが盛りだくさん。
大数珠まわし、紙芝居、そしてお菓子まき!
もちろん、みんなでのお経もとえます。
家族みんなでお参りしよう。(各日13時～)

お知らせ
掲示板



7/19日
模擬挙式
11時「人前式」
15時「仏前式」
興正寺普門園を貸
し切る、特別なブライ
ダルを体験しませんか。模
擬挙式をはじめ、お料
理の試食会など、多く
のカップルから「好評
いただいています」
「ご予約・お問い合わせ」
CHOUCHOUBRIDAL
052-835-0031

興正寺の新たな名物 ヤゴトラカン

そばがき饅頭「甘味長命葉ヤゴトラカン」。興正寺の「ぼっくりさん」の
御利益にあやかる「ヤゴトラカン」を是非ご賞味ください。

【イトイン】喫茶「八琴庵」にて 抹茶セット:500円 ※毎日数量限定

【持帰り販売】毎月21日 興正寺マルシェ内

特設ブースにて販売

興正寺へのお問い合わせは
・お電話 052-832-2801
(年中無休9:00～18:00)
・E-mail yagotosan@koushoji.or.jp
・興正寺HP、公式Facebookは
随時更新中です



子ども寺子屋くらぶへのお誘い

興正寺のお茶室・竹翠
亭が主催する、子どもた
ちと昔ながらの年中行事
や四季折々の遊びを楽し
む会です。登録していただ
くと、行事案内をお届け
いたします。(会費無料)
「流しそうめん」と
うちわ工作
七月二十日(水)十時
要予約/定員三十名
参加費
子ども 一〇〇〇円
大人 五〇〇円
※小学校三年生までは
保護者同伴

仏事の

ひふみ



仏事のこと、なんでも知ってるよって人はいますか?

自信をもって手を挙げられる人は少ないんじゃないかな。いざその時になってみないとわからない仏事の
あれやこれ、お坊さんに聞いて一つずつ解決しちゃいましょう。

その7

朱印と納経ってなあに?

どういふものなの?



お参りに来た人がスタンプ集めてるよ!

あれは朱印(しゅいん)といって
神社仏閣で参拝者に授与される
印章です。印だけではなく一緒
に書かれる墨書も含めて朱印と
されます。納経(のうきょう)と
も呼ばれていますよ。



元々は経を奉納した、つまりお参りをしましたよという証とし
て宝印をいただいたものですから、ただのスタンプではありません。
しっかりとお参りしてから、受けるようにしましょう。



種類もいろいろあるみたい。次回も朱印について聞いてみよう!

興正寺HPでは一足先に朱印・納経のことがわかってしまいます。
トップページから、「仏事とお墓のお悩み解決」をクリック!



寺宝

通心

資料調査『不動尊像』

五月末、資料の調査で京都に出かけてきました。この時季、興正寺境内では木々の緑が日に日に深まり目を惹きつけてくれますが、京都は盆地とあって少々蒸し暑く、また修学旅行の学生や観光客でどこも賑わっていました。そんな熱気をかき分けて、工房に資料を運び込みました。

富山には弘法大師にまつわる資料が何点か伝えられています。今回調査をした軸は「弘法大師御筆」と伝えられる品です。制作から長い年月がたち、全体に煤けたような色合いで、表情や衣の線・文様も分かりにくくなっています。

この「目で見て分からない部分」を、最新の技術を使って「見える」ようにし、いつか修復や復元するときに備えて記録を残すため、デジタルスキヤニングという作業を行いました。

デジタルスキヤニングとは、電子情報として画像を読み取ること、大型で超高精細なコピー



①可視画像



②赤外線画像



③可視画像+赤外線画像

機のようなものです。京都の会社で独自開発されたもので、同じことができない機械は日本に数台しかありません。これでどのような記録が残せるのか、三段階で紹介します。

①目で見える画像「可視画像」、②目で見えない画像「赤外線画像(炭素に反応し、墨で描かれた部分があらわれます)」、③①に②を重ねた画像の①②③と順を追って見ると、描かれたものがよく分かると思います。こうした記録を残すことで、貴重な資料を保存、活用することができるようになります。

(川村)



浴衣で夕涼み

盛夏の花あしらい
クリスタルで冷感茶点前
浴衣「粋」と「涼」の着こなし塾

●平成27年8月7日(金) 19:00~20:30 大書院

●支具料 2,000円/要予約

・洋服でも参加できます。

・別途浴衣の着付けレッスンがあります。

18:00~19:00 15名まで(1,000円)

お問い合わせ・ご予約は竹翠亭まで



七世 眞隆實嚴和尚200回忌記念 宝物大開帳

興正寺の象徴、五重塔を建立された七世 眞隆實嚴和尚。その200回忌を記念し、江戸時代の特別開帳で公開された宝物を展示紹介いたします。

会 期：平成27年7月13日(月)~15日(水)

時 間：10時~16時

拝 観 料：500円(竹翠亭拝観・呈茶付)

夜間拝観：七月盆 葵燈籠会にあわせ、特別拝観を行います。

※18時~21時「三燈一会」参加の方に拝観券をお渡しします。

竹翠だより

お茶が教えてくれた
しあわせ

小暑 大暑

暑くなつてまいりました。早いもので夏至を過ぎて、二十四節気は小暑、大暑へ続きます。

茶の湯では、暑さを少しでもやわらげるためにいろいろな工夫をします。

まずは、お釜を小さなものに替えて沸かすお湯の量を減らします。自ずと風炉も小ぶりになり、少しでも熱気を抑えるためにお客様から遠ざけた位置に置きます。お茶碗も平茶碗と呼ばれる口が広く、浅い夏用の茶碗に替えます。点前の中でも、茶巾を席中で絞ることで涼を感じさせたり、主菓子も葛などが多く用いられ、銘にも季節感がよく表れています。

また、夏には、朝早く涼しいうちに開かれるお茶会があります。それを朝茶と呼び、真夏の早朝の清涼の気を楽しまします。案内は午前5時頃にして、木の枝や葉にまんべんなく露を宿らせた露地にお客様を迎え、日の高くないうちに終えます。このように茶の世界には、感性が細やかな日本人らしい涼のとり方があります。

季節の変化を不自由と思うのではなく、それを受け入れ愉しみへと変えてゆこうとする心から、豊かな室礼や様々な道具、点前が生まれました。知恵を絞るというよりは楽しんでいたというのに近いのかもしれません。

季節や行事に合わせた道具が十分に揃っていないと、たとえ高価な道具でなくてもよいのです。大きめのガラスの器を水指に使うといった「見立て」の道具を用いるなど、テーマに沿って道具の組み合わせをあれこれ考えるのはとても楽しい時です。

竹翠亭では、七月十三日から冷たい抹茶や、冷やしぜんざい、抹茶かき氷もお出しします。八事の森は日増しに深い緑になり、周囲よりいくぶん気温も低いよう、まさしく緑のオアシスです。極上の「涼」をとりについで、

「涼」をとりについで、



(夢田)



長かった梅雨も
終わりを告げ、いよ
いよ夏本番となり
ました。がやすらぎ
庵は先月二十五日
をもちまして、一周
年を迎えることが
できました。
たくさんの方の
お力を頂戴して、こ
の日の迎えること
ができましたことを
心より感謝申し上
げます。今後也多
くの方のお越しを
心よりお待ちしております。
先月もお伝えし
た通り、やすらぎ庵
では七月四日(土)・
五日(日)の二日間、
ワークショップ「七夕
笹かざり作り」を
行います。皆様、是
非ご参加ください。

港 やすらぎ庵

やすらぎ コラム お盆と七夕

どうして「七夕」と書いて「たなばた」と読むので
しょう？
「一本の笹を立てた間に
わらわを張り、夏の煙の恵
み、十六さきげやほおづき
などをぶら下げる。その前
に簡単な台を作つてなす
ときゅうりや牛馬を作る。
これは七夕様のお迎え
—」
始める、とか。
江戸時代の浮世絵で
「七夕」を見ると、家々が
とても高い笹を立てて、
きらびやかな飾り物を競
い合っています。

これはつまり、「高い天か
ら帰ってくる祖先様に、
自分の家が少しでもわか
りやすく目立つように」。
古い祖先さま方は十
三日に帰ってくるけど、新
しい、亡くなったばかりの
祖先様は、数日前から帰っ
て来る…。

地域によって差はありま
すが、そういった伝承も残っ
ています。もしかすると、
「七夕様」こそが、新しい精
霊様なのかもしれません。
お迎えの「精霊棚」にた
てる、目印の飾りのはた
「たなばた」の由来は、ここ
にあるのでしょうか。

七月七日の日の沈むこ
ろ、星になった亡き人がゆっ
くりと帰って来てくださ
る。「七」日の「夕」べに—

そもそも、お盆は七月の
一日から始まるとも言われ
ます。「盂蘭盆会」と言っ
て、七月一日に地獄の釜の
蓋が開き、亡者が旅立ち

《講座ご案内》～どなたでもご参加いただけます～

◆七夕笹かざり作り

60センチほどの笹に、織姫さま、彦星さまなどを飾り、短冊に願い事を書きます。はさみやのりを使つての簡単な工作です。大人からお子さままで、気軽に参加していただけます。

●7月4日(土)5日(日)

14時より 3Fレクチャースペース

各日30名さま限定 所要時間30分程度 参加費100円

◆やすらぎ写経

毎月20日は写経の日。写経の意味・書き方など僧侶がお教えいたします。般若心経またはイロハ歌が書かれた写経用紙に筆ペンでなぞっていただきます。筆ペンはこちらでご用意いたします。

●7月20日(月)

10時より 1Fやすらぎ庵

14時より 3Fレクチャースペース

◆リラックス座禅

リラックス座禅とは呼吸と姿勢を整え、瞑想を行い心身をリラックスさせる僧侶オリジナルの座禅です。忙しい皆様に心を落ち着かせる術を僧侶がお教えいたします。(イス席でも行えます)

●7月30日(木)

10時より 1Fやすらぎ庵

14時より 3Fレクチャースペース

◆絵解き説法『地獄と極楽』

お坊さんが地獄極楽の掛け軸の絵を関西弁で落語風に解説いたします。

●7月15日(水)

10時より 1Fやすらぎ庵

14時より 3Fレクチャースペース

◆絵本読み聞かせ

お坊さんが絵本を読んで聞かせてくれます。どんなお話が聞けるかな。

●7月19日(日)

10時より 1Fやすらぎ庵

14時より 3Fレクチャースペース

◆やすらぎ法話

毎回内容は変わります。今回はどんなお話が聞けるでしょうか。

●7月10日(金)

10時より 1Fやすらぎ庵

14時より 3Fレクチャースペース

◆いろは写経

やすらぎ庵オリジナルの写経。いろは歌の写経です。漢字とひらがなの2種類あります。1Fやすらぎ庵にて、毎日いつでも行えます。

[1Fやすらぎ庵]での各講座は予約優先となります。参加無料です。申し込みは、お電話またはメールにて。※混雑時にはお待ちいただくことがございます。
[3Fレクチャースペース]で行う催事は、予約不要・参加無料です。14時から、法話・絵本読み聞かせなどを行います。詳細はお問い合わせください。

やすらぎ庵facebookでは各講座の写真や新着情報を掲載しています。ぜひご覧になってください。
近隣地域の会館や施設など、ご要望に応じてお坊さんの出張法話も行っております。詳しくはご相談ください。

八事山興正寺 港別院
やすらぎ庵

〒455-0858 愛知県名古屋市中区西茶屋2丁目11
イオンモール名古屋茶屋店 1F
営業時間 9時～18時

お問い合わせ

TEL052-364-6271
FAX052-364-6281
Eメール yasuragian@koushoji.or.jp



奉納蠟燭のご案内

蠟燭は無明の闇を照らし、悟りに至る仏さまの智慧の光りを称えるお供えです。本堂にいらつしやる仏さまへ、どうぞ蠟燭をご奉納ください。

燈明料 金壹千円也



ご奉納いただいた蠟燭は本堂にいらつしやる御仏へお供えいたします。また施主さまのお名前は本堂に翌月末まであげさせていただきます。

平成大改修

志納ご芳名

《金、伍千円》川崎陽子

《金、壹千円》中島幸弘

植樹・献木

志納ご芳名

《金、壹千円》中村美代子

自 平成二十七年五月十一日
至 平成二十七年六月十日

ありがとうございます。心より感謝申し上げます。合掌

八事山興正寺

(順不同敬称略)

お坊さんで行く 興正寺団体参拝

6月16日知多四国霊場巡拝第2回目

随行 高野正清



今回も少し雨に降られてしまいましたね。でも参拝を重ねるごとに雨も弱まっているので、次回はお天気心配はないのではないのでしょうか。団参では信仰・観光・健康の三つを楽しむものです。たくさんの方や場所、仏さまとご縁を結んでいただけたらと思います。次回もたくさんの方にご参拝いただけるようお待ちしております。一緒に参拝してください。皆さま本当にありがとうございました。合掌



平成27年度団体参拝予定

◆知多四国霊場巡拝<全5回> 日帰り

- 第3回 7月7日(火)【旅行代金】10,000円(昼食代含む)
17ヶ寺(36~49番、番外3ヶ寺)申込締切6月30日(火)
- 第4回 9月9日(水)22ヶ寺(50~53番、55~71番、番外1ヶ寺)
- 第5回 10月9日(金)20ヶ寺(5番、72~88番、番外1ヶ寺と興正寺)

お問い合わせ 光明殿受付 0120-8510-78

【取扱旅行会社】クラブツーリズム株式会社 名古屋テーマ旅行センター
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-3-21 セントライズ栄 TEL.052-300-0011

観光庁長官登録旅行業第1693号 [総合旅行業務取扱管理者 勅使河原 大二]
旅行業公正取引協議会会員

出張法話承ります

興正寺では僧侶が地域の社会福祉施設にお伺いする「出張法話」を承っております。「お寺に行きたいけど、足が悪くていけない。」「お坊さんのお話を聞いてみたい!」という施設利用者さまに好評いただいております。是非ご興味がある方がいらっしゃいましたら、下記の連絡先にお問合せくださいませ!



八事山興正寺 出張法話担当 竹内 052-832-2801

いちにちしゅうようえ 一日修養会

7月11日(土) 10時~14時頃

【~仏教のみなもと釈迦牟尼仏~

「お釈迦さまのことば」・お経カラオケ発声法・写経】

◇お釈迦さまのことば『法句経』・『経集』

お経はすべてお釈迦さまのおことばとされていますが、膨大なお経の中でも特にお釈迦さまの「生のことば」に近いと言われる『法句経』『経集』。

この二つのお経から、お釈迦さまのお人柄に触れるものを選んでご紹介します。

◇お経カラオケ発声法

お経の発声はカラオケの上達につながる??

たっぷり息を流して楽しく気持ちよく声の出し方を学びましょう。

支具料:2,000円(昼食付)

社の誓会員1,000円 ※永代供養、墓地をお持ちの方
定員:60名 要予約 申込締切 7月8日(水)

今後の予定

8月9日(日) そば打ち体験講座【紗羅餐監修】・法話

※日程は変更となる場合がございます。 ※写経は行いません。

お問合せ・お申し込み:光明殿受付 0120-8510-78

7月の興正寺講座

※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

仏讃歌

御詠歌上級

講師 鈴木隆弘

7月15日・27日 13時30分より

光明殿

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

御詠歌初級

講師 鈴木智弘

7月12日・21日・30日 14時より

光明殿

金剛流御詠歌の初心者向け講座です。21日・30日は本堂出仕。

体験する

阿息観(密教禅)

講師 杉浦宣秀

7月10日 14時より

普照殿

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっております。誰でも心地よくリラックスできますよ！

阿字観(密教禅)

講師 杉浦宣弘

7月25日 13時より

奥之院

真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

写経・写仏

講師 梶田英伸

7月21日 午前11時30分より

光明殿

毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

セミナー

終活道場

7月・8月はお休みです

学ぶ

仏教入門講座

講師 森田泰澄

7月23日 14時より

普照殿

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

仏典読み解き講座

講師 梶田英伸

7月24日 10時より

普照殿

仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著『往生要集』を読み解いていきます。

遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる
少人数制の講座です。

写経

7月14日 講師 西山海良

7月15日 講師 小松永明

阿息観

7月28日 講師 西山海良

茶の湯

7月20日 講師 菱田操

きもの装い

7月8日 講師 小泉美代子

茶の古典を読む会(全7回)

毎月第2木曜日 10時より

7月9日 講師 梶田英伸

支具料1,000円

心のままに 水墨画

毎月第4金曜日 14時より

7月24日 講師 山田静舟氏

支具料2,000円

※初回のみ道具の購入があります。詳細はお問い合わせください

講座案内④

「仏教入門講座」

講師 森田泰澄

仏教に興味はあるけど、用語が難しかったらどうしよう…ついていけなかったらどうしよう…そんな心配は「仏教入門講座」には不要です！

簡単なお経や、身近な仏さまをテーマに進められる講義はとてもわかりやすくてリラックスした雰囲気です。

本当に「はじめて」の方でも大丈夫。ぜひ一度ご参加ください。

講座データ

★毎月1回木曜日 ※月によって変わります。カレンダーをご覧ください。

★対象…どなたでもご参加できます。

★持物…筆記用具など



チャリティ報告

ネパール大震災募金

金、5万3千2百74円

みなさまのご厚意に篤く
感謝いたします。

JINRIKIとAEDの紹介



興正寺は昭和区の広域避難場所(自治体が指定した大人数収容できる避難場所のこと)に指定されています。大規模な災害・緊急時に備え、人命救助のためのAED(自動体外式除細動器)と、車いすサポート用具 JINRIKI を常備しています。お困りの際は納経所まで！

▲JINRIKI は車いすサポート用具です。(車いすに装着することにより、砂利道・石畳もスムーズにご移動頂けます。)



興正寺行事カレンダー

7月

7月の普門園休園日
7月4日(土)・12日(日)・18日(土)・25日(土)

月	火	水	木	金	土	日
29 赤口	30 先勝	1 友引	2 先負	3 仏滅	4 大安	5 赤口 ◎大随求明王 縁日 露店アリ 10:00 諸堂干支参り 大随求明王 縁日
6 先勝	7 友引 ☆団体参拝 第3回<全5回> 知多四国霊場巡拝 要予約	8 先負 ◎大日如来 縁日 12:30 大日堂 理達分経祈禱 ▽遊翠の心 きもの装い 10:00 14:00 耕雲亭 要予約 支具料2,000円	9 仏滅 戌の日 ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂 ▽遊翠の心 茶の古典を読む会 10:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 樹田英伸	10 大安 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	11 赤口 ☆一日修養会 10:00 要予約	12 先勝 ☆興正寺 月釜 裏千家 淡交会 愛知第二青年部 一席二段 1,500円 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴木 智弘
13 友引 ◎虚空蔵菩薩 縁日 露店アリ 10:00 法話会 普照殿 10:00 諸堂干支参り	14 先負 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 西山海良	15 仏滅 ◎東山 奥之院縁日 13:00 奥之院 善之綱おくり ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 小松永明 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴木隆弘	16 赤口	17 先勝	18 友引 ◎親世音菩薩 縁日 13:00 観音堂 護摩祈禱/法話	19 先負 ☆ブライダルフェア 11:00 人前模範挙式 15:00 仏前模範挙式 大書院 要予約
☆七世 眞隆實嚴和尚200回忌記念 宝物大開帳						
◎七月盆 葵燈籠会 18:30~21:00 竹燈籠点灯						
16:00 迎え法会 虚空蔵菩薩 縁日		18:00-20:00 送り法会(精霊流し)				☆夏休みラジオ体操 6:30 五重塔前
20 仏滅 海の日 ▽遊翠の心 茶の湯 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円	21 大安 戌の日 ◎弘法大師縁日 10:30 弘法堂 読経・法話 ◎月並御影供 14:00 本堂 ▽写経写仏講座 11:30 光明殿 ▽御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴木 智弘 ◎安産合同祈禱会 15:00 本堂	22 赤口 ☆子ども寺子屋くらぶ 「流しそめん」 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 子ども 1,000円 おとな 500円	23 先勝 ▽仏教入門講座 14:00 普照殿 森田泰澄	24 友引 ◎地藏菩薩大祭縁日 13:00 本堂前 大数珠おくり/ 法話/紙芝居 ▽仏典読み解き講座 10:00 普照殿 樹田英伸 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料2,000円	25 先負 ▽阿字観 13:00 奥之院 杉浦宣弘	26 仏滅
☆お寺でお泊り会						
興正寺マルシェ						
27 大安 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴木隆弘	28 赤口 ◎不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 ▽遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 西山海良	29 先勝	30 友引 ◎旧青葉まつり 14:00 本堂 13:40 法話 ▽御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴木 智弘	31 先負	1 仏滅	2 大安

どなたでもご参加いただけます

地蔵菩薩大祭縁日

7月24日(金)・8月24日(月) 13時より

毎月24日はお地蔵さまのご縁日。夏休みは「お寺でお泊り会」の子どもたちと一緒におつとめをします。おつとめのあとは大数珠回しや、お坊さんの紙芝居「切られ地蔵」も。ご家族で、お友達どうしで、ぜひ遊びに来てください。



旧青葉まつり

- 旧暦6月15日 -
7月30日(木) 14時より

弘法大師のお誕生日は、緑のあざやかな季節のため「青葉まつり」とよばれます。私たちをいつも見守ってくださっているお大師さまのご生誕をお祝いします。一緒にお経や和讃をお唱えし、そのご功績を讃えましょう。

特別朱印
参拝者次第授与